

主要地域生協の9月度供給高（売上高）速報 ～節約志向の高まりを反映し、総供給高は4カ月連続の前年割れ～

日本生活協同組合連合会

日本生活協同組合連合会（略称：日本生協連、代表理事会長：土屋 敏夫）は、全国65主要地域生協の2022年9月度の供給高（売上高）の速報をまとめましたので、ご報告いたします。

■全国主要地域生協 2022年9月度供給高・前年比（対象生協数65）

9月度速報値	供給高 (百万円)	前年比 (%)	総供給高に 対する構成比 (%)
総供給高 ①+②+③	237,026	97.9	
① 店舗	76,263	97.5	32.2%
② 宅配	155,498	97.8	65.6%
宅配のうち個配	115,252	98.6	48.6%
③ その他供給高	5,264	106.3	2.2%

※集計対象生協の変更にとまれない2022年9月度は速報の対象生協数66→65でお伝えしています。

2022年度 前年比推移 (%)	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度	累計
総供給高 ①+②+③	100.7	100.4	96.4	97.7	99.5	98.9
① 店舗	98.4	96.4	96.3	99.2	99.1	97.9
② 宅配	101.5	102.2	96.3	97.0	99.6	99.3
宅配のうち個配	102.3	103.5	97.2	97.9	99.9	100.1
③ その他供給高	113.8	109.2	100.0	98.5	105.9	105.1

※供給高とは売上高や販売額のことです。

※その他供給高は、店舗・宅配いずれにも分類できない供給（灯油・葬祭など）を計上しています。

※構成比は小数第二位を四捨五入しています。

※今回記載の過去月度の前年比は確定値です。先月以前のリリース記載の前年比（速報値）とは若干異なっておりますので、ご了承ください。

■今月の特徴

○9月度の総供給高は、前年比97.9%で4カ月連続の前年割れとなりました。店舗・宅配ともに、物価高騰による買い控えの動きが強まったことが影響しました。

○店舗は、前年比97.5%で、6カ月連続で前年割れとなりました。部門別では、総菜は引き続き伸長したものの、他部門では前月度と比較して割れ幅が拡大しました。

○宅配は、前年比97.8%で、4カ月連続の前年割れでした。買い控えによる客単価の落ち込みが影響しました。部門別では、外出機会の増加や衣替えで衣料品が好調な一方で、生鮮品に落ち込みがみられました。

以上

<お問い合わせ先>

日本生協連 広報部

TEL : 03-5778-8106